

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 日本書道史

（ 2024年 1月 9日作成）

氏名 住川 英明

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1. 日本書道史への視点	書道史研究の特色について、概括的に説明することができる。	作品の鑑賞の方法について、事例にもとづいて、具体的に説明することができる。		書道史研究の特色について、下記のキーワードを使って、まとめなさい。「仮説」「様式」「臨書」		高村光太郎の鑑賞文について、3つの鑑賞の方法を当てはめて、考察しなさい。
2. 日本金石文と中国書法	古墳時代以前の文字資料について、概括的に説明することができる。	飛鳥時代の文字資料について、中国書法との関わりに言及しながら、概括的に説明することができる。		古墳時代から上代にかけての金石文に見られる漢字の書体と書風について、まとめなさい。		万葉仮名の発生について、当時の文字資料を例として、順序立てて考察しなさい。
3. 天平の書と王羲之書法	《多胡碑》などの石刻書風について、概括的に	万葉仮名が広く行われるようになった状況について、正倉院文書等の当時の文字		王羲之書法の内容の状況について、当時伝来した摸搨本等によ		光明皇后《楽毅論》の書風について、当時における王羲之書法の内容

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

	説明することができる。	資料にもとづいて、 概括的に説明することができる。		り、具体的に説明することができる。		と関連づけて、考察しなさい。
4. 三筆と中唐の書法	平安時代中期の「和様」の書の成立とその特徴について、概括的に説明することができる。	三跡それぞれの代表的な書作品を挙げて、各人の書の特徴について、具体的に説明することができる。		《高野切》の成立とその書としての特質について、下記のキーワードを使ってまとめなさい。 「女手」「連綿」「古今和歌集」「寄合書き」		
5. 三跡と「和様」	平安時代中期の「和様」の書の成立とその特徴について、概括的に説明することができる。	三跡それぞれの代表的な書作品を挙げて、各人の書の特徴について、具体的に説明することができる。				小野道風の行書作品と藤原行成の行書作品とを比較しながら、和様の成立とその特徴について、考察しなさい。
6. 平仮名の発生とその表現	《高野切》の成立とその書としての特質について、	平安時代中期の女手の発達について、具体的な作品例を挙げ		《高野切》の成立とその書としての特質について、		

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

	て、説明することができる。	て、概括的に説明することができる。		て、下記のキーワードを使ってまとめなさい。 「女手」「連綿」「古今和歌集」「寄合書き」		
7. 散らし書き・料紙の美		平安時代中期から後期にかけての、女手による「古筆」の技法について、具体的な例を挙げて説明することができる。 料紙作成の技法と代表的な装丁形式について、具体的な例を挙げて説明することができる。				散らし書きの技法の発生と展開について、紙背仮名消息と三色紙を例として、考察しなさい。
8. 和様の個性化と「墨跡」	名称に「伝」のついた古筆を例として、その名称と分類の意義について、概括	「墨跡」の代表的な作例について、中国書法の影響に触れながら、具体的に説明することができる。				いわゆる「流儀書道」の功罪について、代表的な書流と秘伝書を例に挙

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

	的に説明することができ 「流」や「様」をもって語られる、代表的な書流と秘伝書について、概括的に説明することができる。	「墨跡」の代表的な作例について、中国宋時代の書の影響に触れながら、まとめなさい。				げて、考察しなさい。
9. 光悦の人と作品	本阿弥光悦の書作品、工房における制作という作品制作のあり方等について、概括的に説明することができる。	近衛信伊の大字書など、書に様々な装飾的な工夫が施されたことを作品例にもとづいて説明することができる。			文化の中心的な担い手が町衆に移行したことによる、書の特徴の変化について、話し合ってみよう。	
10. 和様書道と唐様書道	唐様書道において、真跡を重視する考え方と法帖を重視する考え方が存在したことを、概括的			真跡を重視する考え方と法帖を重視する考え方の両方の立場から、それぞれの		

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

	に説明することができる。		所説を比較してみよう。	
11. 僧侶・画人・文人の書		<p>当時の和様書道、唐様書道のいずれの流れにも関わらず、個性的な書を書き、後にその書が高く評価されている人々の書について、具体的に説明することができる。</p>		<p>良寛の書は、明治以降において画人・文人の間で高く評価されている。その理由について、評価する意見とともに考察しなさい。</p>
12. 幕末の三筆と六朝書道		<p>「幕末の三筆」の書作品について、実証主義の展開の観点から、具体的な作品例にもとづいて説明することができる。</p> <p>「明治の三大家」の書作品について、清朝からの新資料の流入等を踏まえて説明することができる。</p>		<p>貫名崧翁の書と学書の方法は、なぜ明治の識者から高く評価されたのか、考察しなさい。</p>

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

<p>13. 学書理論と資料収集</p>		<p>比田井天来の学書理論のあらましを「実用書と芸術書」の観点から説明することができる。</p> <p>中村不折らによる書道資料の収集とその紹介について、出版された図書等から説明することができる。</p>			<p>競書雑誌による学書システムの功罪について、討議してみよう。</p>	
<p>14. 現代の書流と漢字仮名交じりの書</p>	<p>現代書のジャンルと昭和期の主な書家の作品について、説明することができる。</p>				<p>漢字仮名交じりの書には「古典」がないといわれる。近現代の書家たちはその問題をどのように乗り越えてきたのだろうか。討議してみよう。</p>	
<p>15. まとめ 一書家の書と文人の書一</p>	<p>書家の書と文人の書のそれぞれの特質について</p>				<p>書芸術が、書家の書と文人の書に分離している現状を踏まえ、自己はどのよう</p>	

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

	て、説明することが できる。				な立場で制作に向き 合ったらよいのだろ うか。討議してみよ う。	
--	-------------------	--	--	--	---	--